

『相手に気持ちを考える大切さ』

小城市立芦刈中学校 2年 久^く原^{はら}響^{ひび}輝^き

みなさんは安心して学校生活を送ることができていますか。

楽しい学校生活を送る上で人間関係が一番大切だと思います。そのために人を悪くいったりする人少くないと思います。私はいじめを受けました。最初はバイ菌扱いをされたり、悪口を言われたりする程度でした。しかし教科書がやぶかれていたりらく書きなどがありました。何冊もです。それだけではなくふで箱がベランダからおとされていたり、教科書がトイレにつっこまれたりという器物破損がありました。ここでようやくいじめが終わったように思います。しかし私は、(またあったらどうしよう・・・)という不安でおしつぶされそうでした。このときは色々な気持ちをかかえていてこんらんしていました。担任にめいわくをかけているという申し訳ない気持ち。学校に行きたくないという気持ち。けど登校きよひ、学校に行かないなんてダメという気持ち。色々な気持ちに苦しみました。

いじめっ子のひとたちにはこの気持ち、分かりますか。

このことを私は始め、親に言っていませんでした。親にめいわくをかけたくなかったからです。親に言えず苦しんでいた私を助けてくれたのは担任でした。私にかわって親に伝えてくれた上に私は少し前向きになる力をくれました。担任の存在があったからこそ学校に行くことができているともいえるでしょう。こんな風に私の気持ちを考えてくれた武富先生は私のヒーローです。担任だけで

なく、学年主任も「頑張れ！！」と言って私をだきしめてくれました。そんなとき、

(私のまわりには先生や大切な家族がいる。一人ではない)

と思えて安心できるのです。もしも「自分は一人」だと思える人はもっと視やを広げてみて下さい。みなさんの周りには、先生や家族など、自分を大切にしてくれる人が必ずいます。人は一人で生きていけません。だから学校という集団生活を過ごすことで、人間関係を学びます。人は一人ではできないことがあるから人とかかわるのです。人と関わる上で

『相手の気持ちを考えて行動する』

という事が大切だと思います。一人一人が相手の気持ちを考える事で社会は明るくなります。まずは私のまわりから少しずつかわっていくといいと思います。私もいじめられる気持ちが分かるからこそ困っている人を助けていきたいです。いつか

「みなさんは安心して楽しく学校生活を送ることができますか。」

と聞いたときみんなが迷いなく

「はい！！」

と返事ができるようになってほしいと思います。